

1 ヘビギンポ科クロマスク属 2 種 *Helcogramma inclinata* と *H. nesion* の標準和名と学名,

2 および前者の北限記録の更新と標徴に関する新知見

3 **Assessment of standard Japanese names of two triplefins,**

4 ***Helcogramma inclinata* and *H. nesion* (Tripterygiidae), with the northernmost record**

5 **and newly-recognized diagnostic characters of *H. inclinata***

6
7 本報告では、日本産ヘビギンポ科クロマスク属の 2 種 *Helcogramma inclinata* と *H. nesion* に
8 適用すべき標準和名の再検討を行った。また両種の婚姻色を呈した雄の体色を、水中写真に基
9 づき比較した。さらに、*H. inclinata* の従来 of 分布の北限は琉球列島であったが、鹿児島県の屋
10 久島や薩摩半島で確認されたため、ここに付記する。

11 本報告で用いた標本は、鹿児島大学総合研究博物館(KAUM-VE)に保存されている。なお、
12 属名 *Helcogramma* の性は研究者によって扱いが異なっていたが、Williams and Howe (2003)
13 の見解に従い、本報告では女性として扱う。本報告で引用した論文によっては *Helcogramma* を
14 中性として扱っているが、ここでは混乱をさけるため全て Williams and Howe (2003)に従って表
15 記した。財)鹿児島市水族館公社の山田守彦氏には貴重な写真(図 3)を提供して頂いた。

16 吉野(1984)は、クロマスク属の 1 種 *Helcogramma fuscopinna* Holleman, 1982 に対して新称
17 ヨゴレヘビギンポを提唱し、本種が伊豆諸島以南の南日本からインド・西太平洋域に分布すると
18 した。その後、林(1993)は吉野(1984)が報告した和名と分布を踏襲し、藍澤(1997)は小笠原
19 諸島を本種の分布域に加えて解説した。下條・林(2000)は日本産ヘビギンポ科の再検討を行い、
20 下顎中央の感覚管開孔数が 2 つであることと頭部や体に縦縞がないことの組み合わせによって
21 ヨゴレヘビギンポ *H. fuscopinna* を日本産同属他種から区別した。林(2000)と Hayashi(2002)
22 は、上述の 2 形質に加え、「雄の生時に吻部と眼下に明瞭な縦線がある」ことを本種の特徴とし
23 て記載し、Hayashi(2002)は本種の日本国内における分布を「伊豆諸島から琉球列島の太平洋

24 岸」とした.

25 一方, Williams and McCormick (1990)はフィリピンと台湾から得られた標本に基づき新種 *H.*
26 *habena* を記載した. 沖縄県粟国島をタイプ産地とする *H. inclinata* (Fowler, 1946)は, 従来 *H.*
27 *hudsoni* (Jordan and Seale, 1906)の新参シノニムと考えられていたが(Hansen, 1986),
28 Fricke (1997)や Williams and Howe (2003)によって有効種と認められ, *H. habena* の古参シノ
29 ニムとされた. また, Williams and Howe (2003)は, 従来インド・西太平洋域に広く分布すると考
30 えられていた *H. fuscopinna*(例えば, 吉野, 1984; 林, 1993, 2000; Hayashi, 2002)が西インド
31 洋の固有種であることを明らかにし, 日本に分布するものを新種 *H. nesion* として記載した. した
32 がって, 繁殖期の雄で上唇前方から眼窩下縁を経て前鰓蓋骨に達する青い縦線を有するクロマ
33 スク属(= *H. fuscopinna* 類似種群; sensu Williams and Howe, 2003)は, 日本に *H. inclinata* と
34 *H. nesion* の 2 種が分布することになる. *Helcogramma inclinata* は琉球列島に分布し, 下顎中
35 央の感覚管開孔数が 5~10 であること, 第 2 背鰭棘数が普通 15 であること, 第 1 背鰭第 1
36 棘基底前方に 1~2 鱗列を有することによって他の *H. fuscopinna* 類似種群全種と識別される
37 (Williams and Howe, 2003). *Helcogramma nesion* は伊豆諸島, 小笠原諸島および高知から
38 標本に基づいて報告されており(タイプ産地: 三宅島), 下顎中央の感覚管開孔数が 2 であるこ
39 と, 第 2 背鰭棘数が普通 14 であること, 第 1 背鰭第 1 棘基底前方に小鱗が 1 対のパッチ状に
40 分布することによって他の *H. fuscopinna* 類似種群全種と識別される(Williams and Howe,
41 2003). 両種は標本の調査によってこれらの特徴から容易に同定することができるが, *H.*
42 *inclinata* の生時の婚姻色が報告されていないため, 体色(水中写真)による両種の比較はこれ
43 まで行われていない.

44 ヘビギンポ科の多くの種で, 各個体の生時の体色は周辺環境や昼夜, および成長により著しく
45 変化するが, 雄の婚姻色は種内変異の程度が低い(Motomura et al., 2005). 日本産 *H.*

46 *fuscopinna* 類似種群のこれまでに報告されている水中写真およびネット上で公開されている多く
47 の水中写真を精査し、さらに第 2 著者の数年間におよぶ八丈島と屋久島における水中観察によ
48 って、雄の婚姻色に明瞭な 2 型が認められた。伊豆諸島から高知にかけて分布する雄の婚姻色
49 は、頭部の青い線より上部、体幹部全域、および背鰭と尾鰭の基底部分がオレンジ色で、体側中
50 央部に不明瞭な黒斑が多数並ぶことなどによって特徴付けられる(図 1)。これらの色彩的特長
51 は *H. nesion* の原記載に使用されたカラー写真とよく一致する(Williams and Howe, 2003: fig.
52 15)。一方、日本国内では鹿児島県薩摩半島坊津から琉球列島西表島にかけて分布する雄の婚
53 姻色は、青い線より上の頭部のみがオレンジ色で、体幹部全域および全ての鰭全域が黒色を呈
54 し、体側中央部に不明瞭な水色の斑点が散在することなどによって特徴付けられる(図 2)。これ
55 らの色彩的特長をもった 1 個体(KAUM-VE 34, 標準体長 45.0 mm, 水深 3 m, 原崎森採集,
56 2006 年 1 月 20 日)を屋久島北部の一湊で採集し、精査した結果、下顎中央の感覚管開孔数が
57 8 であること、第 2 背鰭棘数が 15 であること、第 1 背鰭第 1 棘基底前方に 1 鱗列を有するこ
58 とによって *H. inclinata* に同定された。したがって、伊豆から四国にかけて分布する体幹部と鰭の
59 基底部分がオレンジ色を呈する種は *H. nesion*、鹿児島から琉球列島に分布する体幹部と鰭全域
60 が黒色を呈する種は *H. inclinata* であると考えられる。藍澤(1997: 560)がヨゴレヘビギンポ *H.*
61 *fuscopinna* として報告した写真“ヨゴレヘビギンポ 4 cm。[西表島, 8 m, 矢野]”は *H. inclinata*,
62 “ヨゴレヘビギンポ 5 cm。[高知県大月町, 2 m, 岡田]”は *H. nesion* である。ただし、藍澤
63 (1997)の写真の *H. inclinata* は通常色と婚姻色の中間で、完全な婚姻色を呈している個体では
64 ない。益田・小林(1994: 309)が報告した写真“①ヨゴレヘビギンポ *H. fuscopinna*”と“③アヤヘ
65 ビギンポ *H. ellioti*”は両方とも婚姻色を呈した雄の *H. nesion* である。

66 吉野(1984)の新標準和名ヨゴレヘビギンポは、記載や分布域から判断すると、明らかに *H.*
67 *inclinata* と *H. nesion* の両種を混同したものに対して提唱されている。しかし、この標準和名提唱

68 時に用いられた婚姻色を呈する雄の写真 (pl. 376, fig. D) は, その体色から *H. nesion* と同定さ
69 れる. また, 下條・林 (2000), 林 (2000), および Hayashi (2002) は, 下顎中央の感覚管開孔数
70 が 2 であるものをヨゴレヘビギンポ *H. fuscopinna* としていることから, 標準和名ヨゴレヘビギンポ
71 は *H. nesion* に対して適用することが妥当であると思われる.

72 松原 (1963) は *Lepidoblennius marmoratus ishigakiensis* Aoyagi, 1954 (の 1 標本) に対し新
73 称アヤヘビギンポを提唱した. Fricke (1997) は *L. marmoratus ishigakiensis* を *H. inclinata* の
74 新参シノニムとし, *H. inclinata* の日本名をアヤヘビギンポとした. 下條・林 (2000) は Fricke
75 (1997) に従い, 下顎中央の感覚管開孔数が 5~10 であるものをアヤヘビギンポ *H. inclinata* とし
76 た. しかし, 林 (2000) と Hayashi (2002) はアヤヘビギンポの学名を *H. ellioti* (Herre, 1944) とし
77 た. これは, アヤヘビギンポが *H. inclinata* であると報告した Fricke (1997) や下條・林 (2000) より
78 前に出版された林 (1993) で使用されていたアヤヘビギンポ *H. ellioti* をそのまま踏襲してしまった
79 ミスであると思われる. 本当の *H. ellioti* はインドとスリランカの固有種であり, 従来 *H. ellioti* と同
80 定されていた琉球列島を含む西太平洋域に分布する種は未記載種である (Randall, 2005). こ
81 の未記載種は下顎中央の感覚管開孔数が 1 つであるため (Randall, 2005), 感覚管開孔数が 5
82 ~10 とした林 (2000) や Hayashi (2002) のアヤヘビギンポは明らかに *H. ellioti* ではなく, *H.*
83 *inclinata* である. これらの経緯から, 標準和名アヤヘビギンポは, Fricke (1997) や下條・林
84 (2000) による措置が正しく, *H. inclinata* に対して適用することが妥当であると思われる. なお,
85 林 (1993, 2000) と Hayashi (2002) は, アヤヘビギンポの側線有孔鱗数を 70 としているが, これ
86 はヘビギンポ科では考えられない数である (例えば, *H. inclinata* では 26~35; Williams and
87 Howe, 2003). おそらく, 松原 (1963) のアヤヘビギンポ *Lepidoblennius marmoratus*
88 *ishigakiensis* が「縦列鱗数およそ 70 枚」と記載されているところから誤って「側線有孔鱗数が
89 70」としたものである. また, 林 (2000) と Hayashi (2002) は「アヤヘビギンポの頭部には明

90 瞭な縦線がない」としているが、これは縦縞が消失した標本を観察したためと思われる。

91 アヤヘビギンポ *H. inclinata* は従来琉球列島が分布の北限であるとされていたが(Williams
92 and Howe, 2003), 第2著者の水中観察によって鹿児島県の屋久島でも繁殖行動を行っている
93 ことが明らかになった。屋久島一湊から得られた標本(KAUM-VE 34, 標準体長 45.0 mm)は、
94 アヤヘビギンポの標本に基づく北限記録である。また、鹿児島県薩摩半島の坊津でアヤヘビギ
95 ンポと同定される魚が撮影された(図3)。アヤヘビギンポとヨゴレヘビギンポの分布の境界線が
96 どこにあるのか、あるいは両種が共存している場所があるのかを明らかにするために、宮崎県と
97 大分県での今後の調査が期待される。

98

99

100

引用文献

101

102 藍澤正宏. 1997. ヘビギンポ科. 岡村 収・尼岡邦夫(編・監修), pp. 559–560. 日本の海水魚.
103 山と溪谷社, 東京.

104 Fricke, R. 1997. Tripterygiid fishes of the western and central Pacific, with descriptions
105 of 15 new species, including an annotated checklist of world Tripterygiidae
106 (Teleostei). Koeltz Scientific Books, Königstein. ix + 607 pp.

107 Hansen, P. E. H. 1986. Revision of the tripterygiid fish genus *Helcogramma*, including
108 descriptions of four new species. Bull. Mar. Sci., 38(2): 313–354.

109 林 公義. 1993. ヘビギンポ科. 中坊徹次(編), pp. 944–948, 1351. 日本産魚類検索 全種の
110 同定. 初版. 東海大学出版会, 東京.

111 林 公義. 2000. ヘビギンポ科. 中坊徹次(編), pp. 1077–1086, 1600–1601. 日本産魚類検索
112 全種の同定. 第2版. 東海大学出版会, 東京.

- 113 Hayashi, M. 2002. Tripterygiidae. Pages 565-595, 1519–1522 in T. Nakabo, ed.
114 Fishes of Japan with pictorial keys to the species, English edition. Tokai Univ.
115 Press, Tokyo.
- 116 益田 一・小林安雅. 1994. 日本産魚類生態大図鑑. 東海大学出版会, 東京. 465 pp.
117 松原喜代松. 1963. 魚類の形態と検索. I. 第2版. 石崎書店, 東京. xi + 789 pp.
- 118 Motomura, H., S. Harazaki and G. S. Hardy. 2005. A new species of triplefin
119 (Perciformes: Tripterygiidae), *Enneapterygius senoui*, from Japan with a
120 discussion of its *in situ* color pattern. Aqua, J. Ichthy. Aquat. Biol., 10(1): 5–14.
- 121 Randall, J. E. 2005. Reef and shore fishes of the South Pacific. New Caledonia to
122 Tahiti and the Pitcairn Islands. University of Hawai'i Press, Honolulu. xii + 707
123 pp.
- 124 下條敦夫・林公義. 2000. 日本産ヘビギンポ科魚類の7未記録種. 横須賀市博研報(自然),
125 (47): 39–58.
- 126 Williams, J. T. and J. C. Howe. 2003. Seven new species of the triplefin fish genus
127 *Helcogramma* (Tripterygiidae) from the Indo-Pacific. Aqua, J. Ichthy. Aquat. Biol.,
128 7(4): 151–176.
- 129 Williams, J. T. and C. J. McCormick. 1990. Two new species of the triplefin fish genus
130 *Helcogramma* (Tripterygiidae) from the western Pacific. Copeia, 1990(4):
131 1020–1030.
- 132 吉野哲夫. 1984. ヨゴレヘビギンポ(新称). 益田 一・尼岡邦夫・荒賀忠一・上野輝彌・吉野哲夫
133 (編), p. 456(解説), pl. 376–D(図版). 日本産魚類大図鑑. 東海大学出版会, 東京.
134
- 135 (本村浩之 Hiroyuki Motomura: 〒890–0065 鹿児島市郡元 1–21–30 鹿児島大学総合研究
136 博物館 e-mail: motomura@kaum.kagoshima-u.ac.jp; 原崎 森 Shigeru Harazaki: 〒

137 891-4205 鹿児島県熊毛郡上屋久町宮之浦 1559-1 森と海 e-mail: info@mori-umi.net; 瀬
138 能 宏 Hiroshi Senou: 〒250-0031 神奈川県小田原市入生田 499 神奈川県立生命の星・地
139 球博物館 e-mail: senou@nh.kanagawaw-museum.jp)

140

141

142

図の説明

143

144 **図 1.** ヨゴレヘビギンポ *Helcogramma nesion* の婚姻色を呈する雄. 伊豆諸島八丈島底土(原崎
145 森撮影). 頭部上半分, 体幹部, および背鰭と尾鰭の基底が同色(オレンジ色).

146

147 **図 2.** アヤヘビギンポ *Helcogramma inclinata* の婚姻色を呈する雄. 鹿児島県屋久島吉田(原崎
148 森撮影). 頭部上半分のみオレンジ色. 体幹部および各鰭全域が黒色. 青斑点が体幹部に散
149 在.

150

151 **図 3.** アヤヘビギンポ *Helcogramma inclinata*. 鹿児島県薩摩半島坊津(山田守彦撮影).



Fig. 1



Fig. 2



Fig. 3